

学校評価 結果公表シート

1 本園の教育目標

<p>建学の精神にのっとり、「躰（しつけ）に重点を置き、心身ともに健全で情操豊かな子ども」をめざす。幼児一人ひとりが自信をもって、明るく楽しく落ち着いて生活し、生きる喜びをもてるような教育活動を行っている。</p> <p>① 明るく、楽しく、友だち同志仲良くできるように計画し、指導する。</p> <p>② 幼児の能力や性格などを伸ばすように、教育研究と実際指導の両面を進めていく。</p> <p>③ ふだんから健康衛生に対する関心を高め、実践を通して習慣化していく。</p> <p>④ 集団の中での規律、友愛、礼儀作法が身につくようにする。</p>

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

<p>幼稚園教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園が今後担う役割について検討する。</p>
--

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1-① 年間生活目標「あいさつ」「言葉遣い」「はきもの」の定着を図るための保育の在り方を検討する。	年間生活目標は、朝会やさまざまな場面で実践の大切さに触れている。毎朝、帰りの際の先生へのあいさつはもちろんのこと、来園者へのあいさつを励行している。言葉遣いについては適時指導し、正しい言葉遣いが人間関係を良好にすることに気づかせている。履き物の指導は、くり返し指導している。
1-② 小規模園としての特長を活かし、思いやりのある子どもを育成するための保育を検討する。	小規模園ゆえに一人ひとりの園児が見えやすいため、本園では全職員が全園児一人ひとりに思いやりを持ってかかわるようにしている。また、本年度より「異年齢保育」を実施し、年長児と年少児との間に思いやりの気持ちを育てるようにした。
1-③ 保護者のニーズの把握につとめ、要望などに適切な対応をはかる。	各行事後のアンケートの実施と公表、年度末の保護者アンケートの実施などによって、保護者のニーズを把握するようにしている。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>教職員一人ひとりが、園児たちの笑顔や健全な成長のために「何が大切か」、「何をすべきか」を踏まえながら、自己評価を進め、自らの保育を振り返り、改善改良を進めてきた。また、年間生活目標の定着に向けて、根気強く働きかけたことで園児の意識も高まり、一定の成果が見られた。</p> <p>ただ、体力アップの成果が不満足だったことや、さらには保護者のニーズを踏まえた上で今後は「体力アップの創意工夫」や「音感教育」「態度教育」を実践していく予定である。</p>

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
質の高い保育の実施	より質の高い保育を提供し、園児たちの能力向上のために、「音感教育」や「態度教育」を導入する。また、従来からの体力アップや心身統一の効果的な取組方法を検討し、実践していく。
園内研修の充実	職員朝礼や終礼、また勤務時間の中での研修時間を確保することで保育者の質の向上を図る。

6 学校関係者の評価

<p>本年度は、1・3学期に委員会を実施し、2学期には保育参観日に参観していただいた。幼稚園の教育方針、保育内容を理解した上で、実際に保育を見ていただき、保育中の園児たちの真剣で楽しそうな表情、トイレのスリッパの状態、教職員の園児へのかかわり方などを見て、教育方針に沿った保育が展開されているとの声をいただいた。</p>
--

7 財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p>
